

歯科

歯科では、当センターに入院・入所されている方みなさんの歯科検診を行っています。また、通常のむし歯や歯周病といった歯科治療や義歯治療はもちろんのこと、口腔衛生指導や嚥下機能評価にも力を入れた活動を行っています。

吉田 光由 部長

日本老年歯科医学会認定医・指導医
日本補綴歯科学会専門医・指導医



一目で覚えていただける風貌です。。。昼食時に病棟によく出没します。口のことでも気になることがあれば、何なりとお聞きください

新人さん紹介

新職員さんが新たに加わってくれました！！
みんなで協力してより良いセンターにしていきたいと思います！！

言語聴覚士 谷岡 緑(みどり)



7月1日採用です。ベテランの風格が漂っていますが経験1年目です。患者様に楽しんでいただけるようしっかり照らしていきます。剣道四段、居合道三段、医療事務2級

言語聴覚士 西田 磨紋沙(まあさ)



7月1日採用です。社会人1年目です。読みにくい名前ですが覚えて下さい。患者様が楽しく過ごせるよう元氣一杯、笑顔で頑張ります。趣味はそうじです。

看護師 大杉 広子



6月21日から働いています。笑顔を忘れずに頑張ります。趣味は雑貨屋めぐりです。

生活支援員 津江本 征子



4月7日から働いています。利用者様が笑顔で過ごせるよう関わっていきたくと思います。趣味はウォーキングです。

総リハ便利情報



センター内にある理容室です。

【定休日】日曜日・月曜日
【営業時間】9:00~17:00
【電話番号】082-811-9517

9~11月の行事食

9月20日 敬老の日
9月23日 秋分の日
10月11日 体育の日
お誕生日食



※食事形態によっては対応できない場合があります。ご了承ください。※写真はイメージです。

みなさんのお役に立ちたいという心構えで、みなさまのご来店をお待ちしています。

料金表

【男性】	【女性】
総合調髪 ¥2,800	カット, 顔剃り, シャンプー ¥3,300
丸刈り ¥1,800~	カット ¥2,500
顔剃り ¥1,500~	顔剃り ¥1,500
シャンプー ¥800	シャンプー ¥1,000
	カラー ¥4,000
	パーマ ¥5,000



ココロ通信

広島市総合リハビリテーションセンター

〒731-3168 広島市安佐南区伴南一丁目39番1号

TEL (082) 848-8001
FAX (082) 848-8003
E-mail souriha@city.hiroshima.jp

topics

理念・基本方針 利用者様の権利 病院長あいさつ 医局紹介
新人紹介 総リハ便利情報 行事食

理念

私たちは、利用者の皆様が住み慣れた地域でいきいきと心豊かな

生活ができるよう、良質で信頼される総合的なリハビリテーションサービスを真心をこめて提供します。

基本方針

- 1 中途障害者の皆様の社会復帰や社会参加を促進するため、相談・評価から医療・訓練、就労援助までのリハビリテーションサービスを一貫した計画のもとに提供します。また、保健・医療・福祉の関係機関と連携を図り、地域におけるリハビリテーションを支援します。
- 2 利用者様一人ひとりの立場に立って悩みや希望を理解し、誠意を持った細やかな対応と良好な環境整備に努め、個人の権利を尊重したサービスを提供します。
- 3 病院は、専門スタッフが回復期を中心としたリハビリテーションにチームで取り組み、最適のリハビリテーション医療を提供します。また、インフォームド・コンセントを徹底し、安全で信頼される医療を提供します。
- 4 自立訓練施設は、家庭や職場、地域での生活を再構築するための通過型施設として、最適な相談・訓練等のサービスを提供します。

利用者の皆様の権利

- ◇ あなたには、個人として尊重される権利があります。
- ◇ あなたには、良質で安全な医療・福祉サービスを平等に受ける権利があります。
- ◇ あなたには、あなたの症状や障害の状態、リハビリテーション計画について十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
- ◇ あなたには、リハビリテーション計画をあなたの意志で選択し、決定する権利があります。
- ◇ あなたには、診断やリハビリテーション医療について、他の医師の意見を聞く権利があります。
- ◇ あなたには、プライバシーが守られる権利があります。

リハビリテーション病院の輝かしい未来に向けて

広島市総合リハビリテーションセンター
リハビリテーション病院 病院長 村上 恒二



リハビリテーション病院は、平成20年4月に開院して3年目を迎えました。全く“ゼロ”からの立ち上げということで様々な“予期せぬ出来事”にも遭遇し、運営してみなければわからない様々な戸惑いもありました。しかしながら、「患者さんに選ばれる病院、患者さんに喜ばれる病院、患者さんに信頼される病院」を目指してスタッフが一致団結してほぼ満床に近い状態で病院運営ができる状態になり、広島市民の皆様に貢献できているのかなと思っています。これもスタッフの皆様が、「病院を良くしたい」との気持ちで、ベクトルを一つにして、良い病院を作ることに励んで頂いた結果と感謝しています。

さて、平成21年度は、382名の患者さんに入院して頂き、病床利用率は91.5%でした。ちなみに病院開設年度である20年度は、入院患者数316名、病床利用率65.5%であり、開設2年目で大幅に入院患者さんも増えたことになりま

した。21年度の入院患者さんは、脳血管疾患60.5%、神経難病・神経内科疾患15.4%、脊髄損傷・脊椎・整形疾患15.2%、外科手術後・肺炎等の後の廃用症候群8.9%の疾患割合となっており、広島市内の急性期病院から78.3%、広島市外で県内の急性期病院から16.7%、東京、大阪等、県外医療機関から5.0%の紹介入院でした。退院患者さんにつきましては平均在院日数81.9日で、退院患者さんの退院先は自宅が72.6%、介護老人保健施設4.4%、急性期医療機関への転院8.6%、維持期医療機関への入院14.4%であり、退院患者さんのうちで在宅復帰された方の割合が60%以上という回復期リハ病棟の質の評価を十分にクリアすることができました。

また、病院財政の健全化におきましても21年度は

20年度に比べて大幅に改善することができました。病院経営は長い間の低医療費政策の下で病院医療の崩壊が進行し、大変厳しい状況になっています。さらに、最近の我が国及び地方自治体の財政事情は悪化の一途であり、病院といえども大赤字を出していたのでは、物も買ってもらえず、人も雇ってもらえず、職員の給料も払えずで、あげくのはては公立病院が指定管理者制度への移行や民間移譲などを強いられるきびしい状況となっています。しかしながら、私たちが健全経営のために果たすべき役割は何か考えてみますと、一にも二にも最高の医療をすること、最高の看護をすること、そして最高のリハビリをすることであり、患者さんの最高の機能回復をはかり、入院して良かったと最高の感動をして頂くことです。その結果が多くの患者さんに入院して頂くことに繋がり、病床利用率も100%近くに上がって歳入増に繋がり、病院および職員の労働環境もさらに良くしていくことではないかと思えます。今年度は4月から6月の病床利用率が97%前後と21年度以上に患者さんの増加が見込まれます。今後は急性期病院と緊密な連携のもとで、「①入院依頼を受けてから出来るだけ早い入院をして頂く、②入院してからは出来るだけ多くのリハビリを受けて頂く、③出来るだけ多くの患者さんに自宅退院をして頂く」ことが私たちの目指すところであり、このことを肝に銘じて病院運営をしっかりとやっていきたいと思えます。

最後に今年度になすべきことについて考えてみたいと思えます。過去2年間を振り返ってみますと、1年目は「チーム医療の体制構築と実践」、2年目は「病院の財政基盤の安定」に皆様の英智を結集して頂き、それなりの成果をあげてまいりました。今年度は開設3年目にあたりますので「病院の質の向上」を目指さなくてはなりません。病院の質を向上させるためには、組織体として

病院機能の一層の向上が必要であり組織力の向上が求められます。さらに病院機能として自己評価だけでなく、第三者による評価の導入が必要です。このために平成23年1月には日本病院機能評価機構の病院機能評価を受審することになりました。

さて、病院機能評価の効果と利点は何でしょうか。これは現状の客観的把握であり、改善のきっかけづくりがあげられます。そして、効果的で具体的な改善目標の設定、職員の自覚と改善意欲の醸成、改善の方向の明示と認定による患者さんからの信頼があげられます。

次に、機能評価を受けることによる病院職員のメリットは何でしょうか。①全職員を対象とした院内教育・研修が実施され、職員のスキルアップをサポートできること、②診療及び業務上の指針・手順が作成されることにより、患者、職員共に、安心かつ効率的な医療サービスの提供が可能となること、③院内の清潔管理・感染性廃棄物の処理（分別・表示など）等が適切に行われるようになって、安全かつ快適な職場環境を構築できることなどです。病院機能評価は、「病院の監査」を受けることでは決してありません。私たちの病院が「安心してリハビリや治療を受けることのできる質の高い病院」への仲間入りをするために「病院の改善」を行うための指導を日本病院機能評価機構から受けることです。受審のためには、規約やマニュアル等の作成あるいは院内の細かな整備等の膨大な作業をしなければなりません、

「病院の質の改善」に向けて職員総がかりで取り組み、「社会に誇れるリハビリテーション病院」にしていきたいと思えます。



病院長紹介

- ・日本整形外科学会専門医
- ・日本リハビリテーション学会専門医
- ・日本リウマチ学会専門医
- ・日本体育協会スポーツドクター

趣味・好きなこと

- ・スポーツ
- ・エアロビクス

恥ずかしながらメタボ対策で始めたのですが最近ハマっています



医局紹介



神経内科

当院では、神経内科専門医が常勤するリハビリテーション病院として、脳血管障害はもちろんのこと、パーキンソン病や脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症などの神経変性疾患や、多発性硬化症、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎などの神経免疫疾患のリハビリテーションにも力を入れています。

加世田 ゆみ子 副院長



日本神経学会専門医・評議員
日本リハビリテーション学会専門医
日本内科学会認定医
日本臨床神経生理学会認定医
日本老年学会代議員

多職種の専門性を最大限に生かして、レベルの高いリハビリテーション医療を目指したいと思えます。エビデンスを発信できるよう努力したいと思えます

池田 順子 部長



日本神経学会専門医
日本内科学会総合内科専門医
日本頭痛学会専門医
日本脳卒中学会専門医

内科・神経内科の知識をリハビリに生かせるよう日々努力しています。

早田 美和 医師



日本神経学会専門医
日本内科学会認定医

神経内科医ですが、橋創も診ています。

リハビリテーション科

当院では、3名の日本リハビリテーション医学会専門医・指導責任者ならびに1名の日本脳神経外科学会専門医が常勤し、脳血管疾患（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など）・頭部外傷・くも膜下出血のシャント手術後・脳腫瘍・脳炎・急性脳症などの脳疾患、脊髄損傷・脊髄炎などの脊髄疾患をはじめ大腿骨・骨盤・脊椎・股関節などの骨折や手足の切断で義足・義手などの義肢装着訓練が必要な状態の患者さんに対して、集中的なリハビリテーションの指導、実践を行っています。

杉原 勝宣 副部長



日本リハビリテーション医学会専門医
日本リハビリテーション医学会指導責任者

脳卒中、脊髄損傷含む整形疾患一般、脳性麻痺などが得意です。患者さんのお役に立てるよう努力いたします

難波 孝礼 副部長



日本リハビリテーション医学会専門医
日本リハビリテーション医学会指導責任者

2階病棟にだいたいいます。基本的には、ご家族の負担増があっても自宅生活維持が本人にはベストと考えています

平本 恵子 副部長



日本脳神経外科学会専門医

Creativeさが売りです。病棟を明るくしたいと思います。

越智 光宏 副部長



日本リハビリテーション医学会専門医
日本リハビリテーション医学会指導責任者

担当させていただいた患者さんが、来てよかったと思っただけのように頑張ります